平成 18 年 11 月 6 日

各　　位

会 社 名　サ ン ポ ッ ト 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　坂内孝三
コード番号　3 4 2 8
東証第二部
問合わせ先　専務取締役　岡本隼六
電　　話　048-470-7760

第 43 期 中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ（非連結）

平成 18 年 11 月 6 日開催の取締役会において下記の通り業績予想の修正を決議いたしましたので、お知らせ致します。

1．平成 18 年 9 月中間期　業績予想の修正（非連結）

平成 18 年 5 月 17 日付け「決算短信」で発表いたしました平成 18 年 9 月中間期の業績予想を下記の通り修正いたします。

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（平成 18 年 5 月 17 日開示　A）	5,090	86	49
今回修正予想（B）	4,868	1	△24
増減額（B-A）	△222	△85	△73
増減率	△4.4%	△98.8%	△149.0%
（ご参考）平成 18 年 3 月期	10,738	203	348

2．平成 19 年 3 月期　通期業績予想の修正（非連結）

上記 1 をふまえて、平成 18 年 5 月 17 日付け「決算短信」で発表いたしました平成 19 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正いたします。

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（平成 18 年 5 月 17 日開示　A）	11,250	586	338
今回修正予想（B）	10,768	423	245
増減額（B-A）	△482	△163	△93
増減率	△4.3%	△27.8%	△27.5%
（ご参考）平成 18 年 3 月期	10,738	203	348

＊上記業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

3．　業績修正の理由

（1）中間期

売上につきましては、石油暖房機器が概ね堅調であったものの、融雪システムをはじめとした温水システム機器の販売が不振であったことから、計画を下回る結果となりました。不需要期における灯油価格の高止まりが主な要因と考えております。

利益面につきましては、売上の低下、資材価格上昇による原価増のため、計画を下回る結果となりました。

（2）通期

通期の業績につきましては、上記（1）をふまえて下方修正を行うものであります。石油暖房機器については堅調であるものの、温水システム機器の落ち込みを挽回することは難しいと判断したものです。

4．　今後の対策

灯油価格、資材価格の動向については引き続き注視が必要であります。そのような状況下、当社ではエネルギーの多様化に対応するべく、地方自治体、大学、電力会社等と共同で自然エネルギー、電力といった灯油以外のエネルギーを熱源とする商品の開発を行っており、ペレットストーブ、地中熱ヒートポンプシステム、電気暖房ボイラーを市場に投入しております。

この 10 月には電化システムチームを研究開発部内に発足させ、この分野に対応する体制を整備いたしました。

当社としましては、不振であった温水システム機器の挽回に努めるとともに、新しい分野へ注力することによって業績の回復に努める所存です。

以　上